

不都合な真実

- 失われる対日直接投資推進“人財” -

2022年5月13日
チャールズ・レイク

「人財」

武田信玄



※武田信玄公銅像（出典：甲府市観光協会）

「人は城、人は石垣、人は濠」

対日直接投資の基盤も「人財」



海外投資家

企業

個人

将来の投資家候補

海外留学生・ビジネスパーソン

投資の意思決定は「人」

主要7カ国中、日本のみが免除しない“ビザ”

水際対策が緩和された3月以降も、入国にはビザが必要

さらに

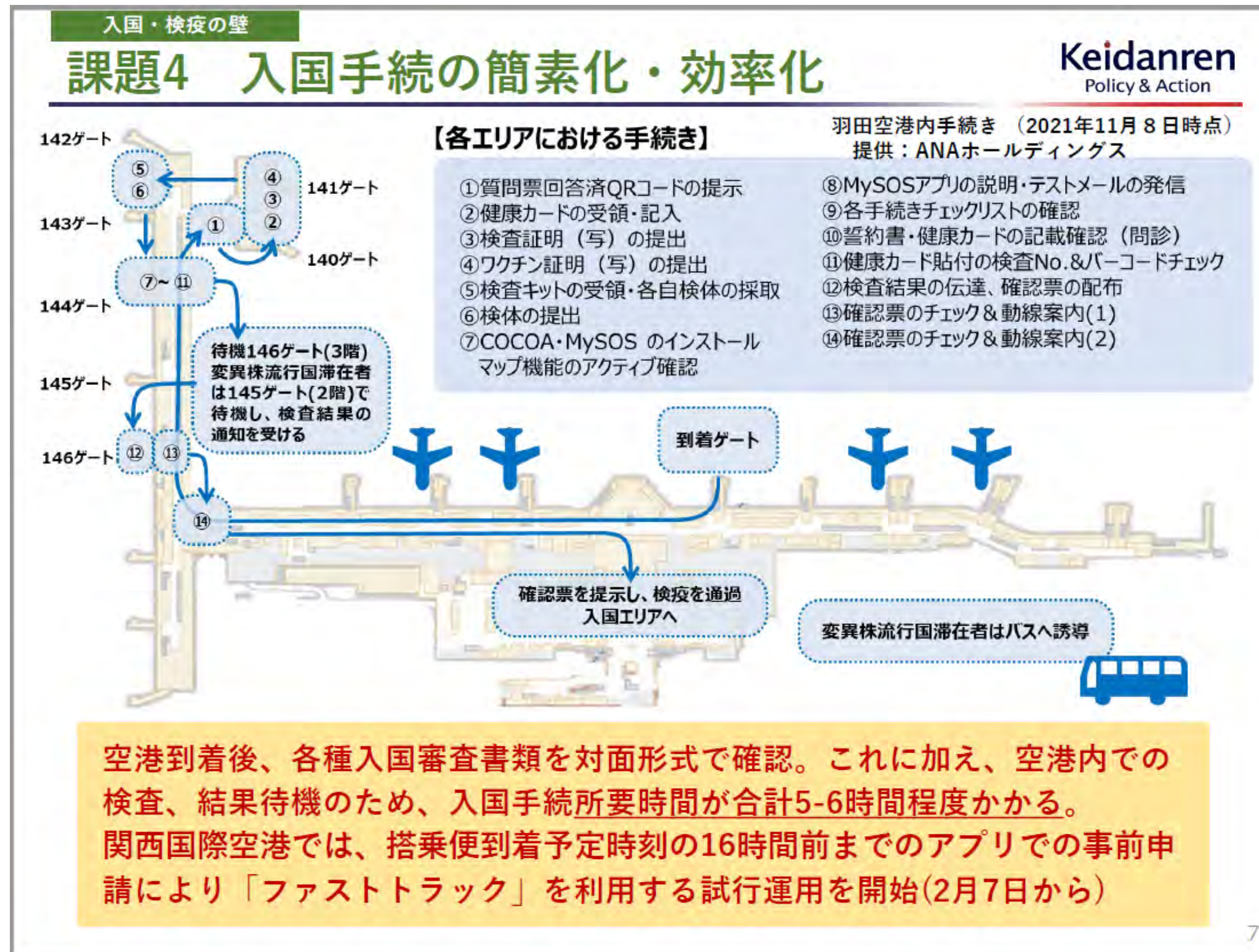
ビザ発給の制限継続
(観光ビザ不可等)

領事館にビザ申請が殺到
手続に遅延発生

入国可能枠の
上限設定 (1万人)

現状、日本に投資した外国人が入国できない事態や、
ビザを取得した外国人と日本人が「入国枠」を取り合う形にも

入国プロセス = 日本の第一印象



経団連は3つの壁の克服を提唱

「渡航・入国前の壁」 「入国・検疫の壁」 「行動管理の壁」

岸田首相の英国シティーでの講演＝日本の「国際公約」

- 私が提唱する経済政策、特に「新しい資本主義」について話したい。私からのメッセージは1つだ。日本経済はこれからも力強く成長を続ける。安心して日本に投資をしてほしい。インベスト・イン・キシダだ。（略）
- 日本は世界に開かれた貿易・投資立国であり続ける。世界とヒト、モノ、カネ、デジタルが自由に往来し成長していく。
- 昨年末、（新型コロナウイルスの）オミクロン型の世界的拡大を受けて水際対策を強化した。現在では大幅な緩和を実現し、6月には他の主要7カ国（G7）諸国並みに円滑な入国が可能となるようさらに緩和していく。
- 日本は近年、世界で最も自由貿易を推進してきた国だ。昨年、日英経済連携協定（EPA）を発効させ、今まさに手続きが進んでいる英国の環太平洋経済連携協定（TPP）加盟を強く支持している。
- 日本は今後も世界にオープンだ。ぜひ日本にお越しくください。

2022年5月5日英国での講演；投資家へのメッセージ部分より抜粋

「最大限の“おもてなし”をする」

国際社会からの期待に応えるために

対日直接投資促進に向けて重点的に進めるべき事項

～ワーキング・グループ取りまとめより～

第1の柱

対日直接投資を通じた
「人への投資」の強化

第2の柱

対日直接投資を通じたDX・GX
スタートアップの育成

優先すべき事項

合理的な水際対策実現と
空港での感動的な体験

MVP (Minimum Viable Product) による実効性の証明
“おもてなし”実現に向けたカギになる

“おもてなし”を実現する5つのプリンシプル

公衆衛生疫学的な合理性に基づく基準
主要7か国と同水準の合理的な水際対策の実現

ディスクロージャー
適切な情報開示による予見可能性確保

DX (GX)
デジタルトランスフォーメーション

デザイン思考
ニーズの理解→試作→検証

UX
ユーザー・エクスペリエンス
おもてなしを感じる感動的な体験

“アジャイル手法”を活用したPDCAサイクル